

第8回 日本視機能看護学会会員情報交換会報告

■テーマ： 視機能看護の課題について

- ① 専門性を高めるための工夫と対策
- ② 点眼指導の方法を含めた短期入院患者の退院支援について

■日時：2022年3月26日（土）14：00～15：15

■方法：ZOOMによる意見交換会

■参加人数：12名（日本視機能看護学会役員含む）

■アドバイザー：日本視機能看護学会 大音清香名誉理事長



前回の意見交換会はセミナー形式とし、「視機能看護の課題について」大音名誉理事長にご講演をお願いしました。その際のアンケートにてたくさんのご質問やご意見をいただき、このたび第8回意見交換会として上記テーマでの開催が実現しました。

名誉理事長からは、以前にご質問を頂いていた保険点数の加算可能な看護業務の項目、眼科看護師の役割、ロービジョンケアの働きかけ、手術室器械出し看護師の教育、点眼指導などについて具体的なご教示をいただきました。また、各理事の所属施設での点眼指導や周術期看護の実践や課題、視機能看護への思いなども共有できました。そして、全体討論では眼科における退院支援の在り方について、術後のサポート体制や社会福祉制度の活用など含め眼科看護師としてどのように患者家族に介入していく事ができるのかなどを考えるよい機会となりました。

今後も、視機能看護の意義やその課題については、セミナー形式を含めた意見交換会を継続し看護実践に繋がっていく事ができるよう企画運営を進めていきたいと考えております。

次回の意見交換会については、ロービジョンケアについてのセミナー企画や術後指導に関する看護介入についてなどを検討しておりますので、随時ホームページおよび会員メーリングリストへのご登録をしていただき、リアルタイムに情報発信が行えるように思います。

今後も多くの会員の皆様のご参加をお待ちいたしております。